

タイトル (活動概要)	40 こおり鬼 (簡単なルールの鬼ごっこをする)	アプローチ (関連する力)		「仲間づくり」 ⑩ ⑭	
タイミング (実施時期)	学級編成をして間もなくして	活動場所	運動のできる 広い場所	所要時間	5～15分
対象学年	幼・ <input type="checkbox"/> 小低・ <input type="checkbox"/> 小中・小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級・学年	活動場面	体育・集会
活動のねらい	<p><背景> 大勢で遊ぶ中で、友達を助けたり友達に助けられたりする経験が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体を触れ合いながら鬼ごっこをすることで、より多くの友だちと信頼体験（助ける・助けてもらう）をする ・感謝の気持ちを表す「ありがとう」を言う 				
準備	紅白帽				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> みんなで助けたり助けられたりして楽しく遊ぼう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・鬼になった人は、逃げている人を「タッチ」と言って触る ・触られた人は、その場で氷になり、動かない ・凍った人を助けるには、凍っていない人が「あったかパワー」と言ってタッチし、動けるようにする ○こおり鬼をする <ul style="list-style-type: none"> ・付け加えルール <ul style="list-style-type: none"> ・凍った子を助ける時は、「あったかパワー」と言いながら10回背中をさすって溶かして助ける ・溶かしてもらったら「ありがとう」を言う ・その間鬼は少し離れて待つ ○鬼を交替して2～3回やる		<ul style="list-style-type: none"> ・鬼と逃げる子を区別するために帽子の色分けをする ・ルールを理解させるため、動ける範囲を狭くしてやってみる ・逃げられる範囲を広くし、カラーコーンなどで分かるようにしておく ・一回ごとにふり返りをしてルールを追加してもよい 			
3 ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・こおり鬼をやってみて、気づいたことや感じたことなどを発表する 		<ul style="list-style-type: none"> ・助けてもらい、うれしかった気持ちだけでなく、助けてもらえなかったときなどのネガティブな感想も受けいれていく 			
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1回ごとにふりかえりをして、助けてもらえなかった子の気持ちに焦点を当てて友達に助けてもらうことよさに気づかせていくとともに、どの子も助けられる経験ができるように配慮する 				